『勝てるビジネスチームの作り方』 まとめ

名誉の掟

- 真のチームの共通項目
  - チームの目標が第1
  - チームのニーズが第2
  - 自分のニーズが第3
- 互いにうまくやるために
  - 1.メンバー全員が、チームのミッションや他のメンバーの状況を気遣う
  - 2.メンバーと現実を共有
    - チームの中では仲間言葉で話す
  - 3.手短かつ明確に用件を伝える
  - 4.相手にも自分の話を繰り返してもらい、自分も相手の話を繰り返して確認する
- ルール破りを指摘する
  - 1.適切なときを選ぶ
  - 2.居心地が悪かったらその感情を認識する
  - 3.指摘する許可を得る
  - 4.他人の人格ではなく態度を改善させる
  - 5.何がいけないか具体的に伝え手助けを申し出る
  - 6.態度の指摘はチームだけでなく自分自身のためにであると伝える
  - 7.相手が合意したことを思い出させる
  - 8.相手の答えに口を挟まず、指摘を聞いてくれたことに感謝する
  - 9.どのような態度を求めているか伝える
- リーダーシップ
  - 1.他人の力を見つけ、それを引き出す能力
  - 2.教える能力
  - 3.失敗をチームの力にする
    - 1.メンバーが何をしたのかたずねる
      - 1.何が起きたのか
      - 2.何がうまくいったのか
      - 3.何がうまくいかなかったのか
      - 4.そこから何を学んだか
      - 5.訂正するために、あるいは弾みにするために何が出来るか
    - 2.あらゆる成功を祝う
    - 3.作戦タイムを取る
    - 4.メンバーと頻繁に交流する
    - 5.未来の明るい可能性を予見し伝える能力
    - 6.セールスの能力
  - 行動に一貫性を持つ
- メンバーの行動を縛る単純かつ強力なルール
- 人材
  - 1.どんなエネルギーを発しているか
  - 2.勝ちたいという欲求があるか
  - 3.成功を譲ることが出来るか
  - 4.責任感があるか
  - 5.ルールに従う用意があるか
  - 6.独自の才能や能力があるか
- 名誉の掟を作るためのステップ
  - 1.冷静なときを選ぶ
  - 2.チームの仕事ぶりを日常的に損なっている問題を見つける
  - 3.全員が参加する
    - 全員で作り上げたものなら、全員がそれを自分のものとして考える
    - 新しいルールが気に入らない人は、掟作りの途中でチームを抜けることが出来る
  - 4.さまざまな良い態度や悪い態度について、メンバーがそれをどう感じているか話し合う
  - 5.ルールを決めたら、すぐに書き記す
  - 6.明確に！
  - 7.人の機嫌についてのルールは作らない
    - 腹を立てない
    - 常に機嫌よくいること　など
  - 8.ルールは「進路」のようなものであるべき
  - 9.ルール作りにばかり没頭しない！
    - 10個程度に絞る
    - 新しいルールを加えることで調整しない
    - 掟が明確になるように調整
  - 10.誰かがルールを破ったら、指摘しよう！
- 指摘される側だったら？
  - 1.深呼吸する
  - 2.相手の意見がどうであれ、その人にとっての真実であることを認める
  - 3.積極的に耳を傾ける
  - 4.間違いを犯したら、それを認める
  - 5.相手にどうしたら改められるか、チームに対しどう埋め合わせが出来るか尋ねる
  - 6.相手の指摘が正しくなかったら、名誉の掟を参照する
  - 7.指摘事項に関心を持ち内容を確かめる